

公立岩瀬病院における 医師の働き方改革への取り組みと課題



公立岩瀬病院 病院長
土屋貴男

利益相反の開示

発表者名：土屋貴男

**演題発表に関連し、発表者に関
開示すべき利益相反関係にあ
る企業などはありません。**

当院の概要

◆所在地:福島県須賀川市

◆設立(市町村立)

須賀川市、鏡石町、玉川村、天栄村
(1市1町2村)



当

須賀川牡丹園 5月



◆所

◆設

須賀川市

釈迦堂川花火大会 8月



松明あかし 11月

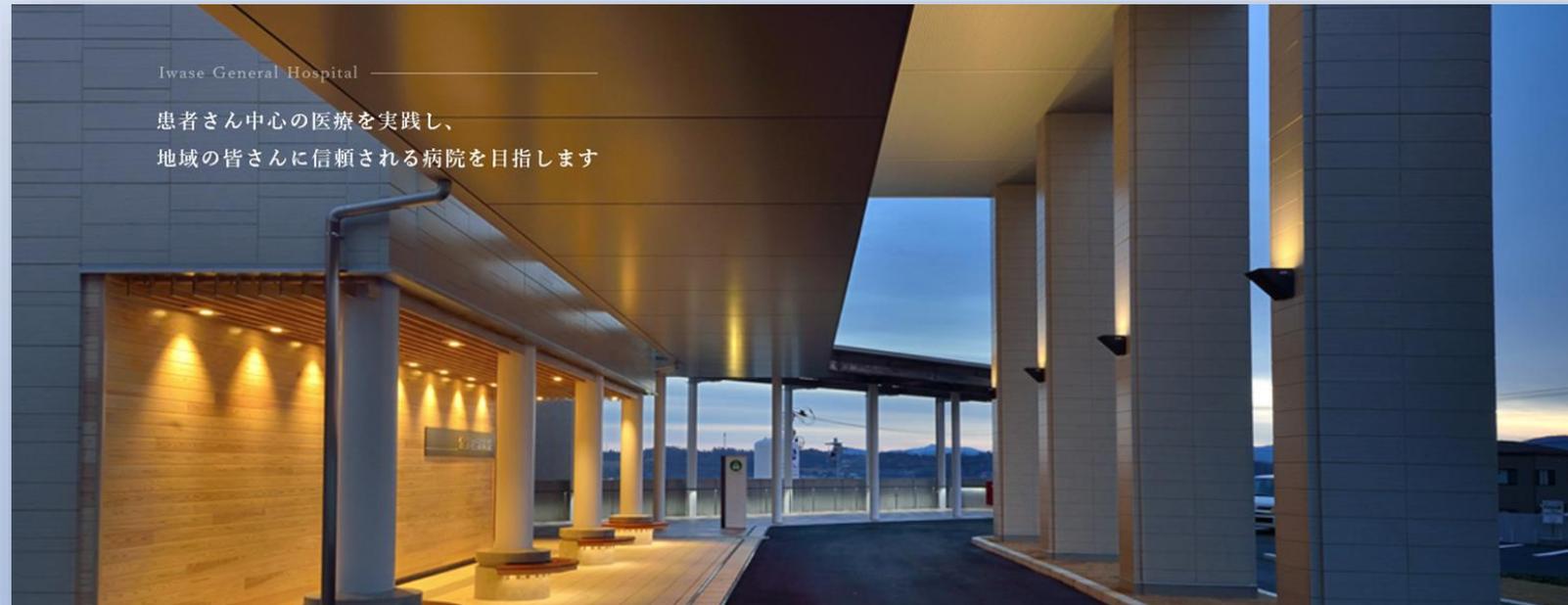


福島空港

川市

本日の内容

1. 当院の沿革
2. 当院の地域における役割
3. 福島県の医師確保状況
4. 当院における医師の働き方改革への取り組みと課題
5. 今後の展望



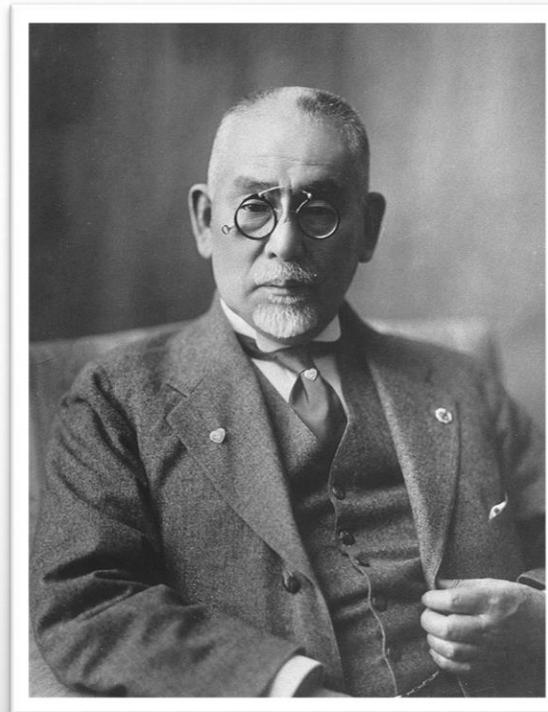
1.当院の沿革



翠ヶ丘公園

当院の沿革 福島県立医科大学のルーツ

創立150周年！



明治5年(1872年) 当地方の先覚者たちにより近代医学導入のため創立。その
当時に開設された病院は、全国でも数か所という時代。

明治6年には院内に須賀川医学校が併設され、全国から医療を志すものが集まり、
稀代の政治家「後藤新平」をはじめ数百人の名医、名士を輩出。

後藤新平の業績

- 医師・官僚・政治家
- 出生：1857年（岩手県奥州市）
- 須賀川医学校卒
- 台湾総督府民政長官、満鉄初代総裁、逓信大臣、内務大臣、外務大臣、東京市第7代市長、東京放送局（後のNHK）初代総裁、ボーイスカウト初代総長
- 関東大震災後に内務大臣兼帝都復興院総裁として東京の帝都復興計画を立案 ⇒ 【東日本大震災復興 クローズアップ】
- 日清戦争後に帰還兵23万人の世界初大規模検疫を3か月で成し遂げる ⇒ 【新型コロナウイルスまん延 再びクローズアップ】



公立岩瀬病院 150年に至るまでの危機



折れた煙突が検査室
の屋根を突き破る



公立岩瀬病院の概要

◆ 診療科目 : 21科

(内科、消化器内科、循環器内科、総合診療科、心療内科、膠原病内科、糖尿病内科、脳神経外科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、リウマチ科、小児科、産婦人科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科)

◆ 病床数 : 279床 (感染症 : 6床)

7対1看護 : 231床

地域包括ケア病棟 : 48床

◆ 医師数 39名

◆ 看護職員数 262名

◆ 全職員数 477名



各種指定医療機関

- 保険医療機関
- 救急告示指定病院
- 災害拠点病院 / DMAT指定医療機関
- 第二種感染症指定医療機関
- 結核指定医療機関
- エイズ治療拠点病院
- 労災保険指定医療機関
- 母体保護法指定医の配置されている医療機関
- 生活保護法指定医療機関
- 指定自立支援医療機関
- (更生医療)(育成医療)(精神通院医療)

- 基幹型臨床研修病院
- DPC対象病院
- 肝疾患専門医療機関
- 身体障害者福祉法指定医の配置されている医療機関
- 指定養育医療機関
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 指定小児慢性特定疾病医療機関
- 難病の患者に対する医療等に関する法律に基づく指定医療機関
- 戦傷病者特別援護法指定医療機関
- 原子爆弾被害者医療指定医療機関
- 原子爆弾被害者一般疾病医療取扱医療機関



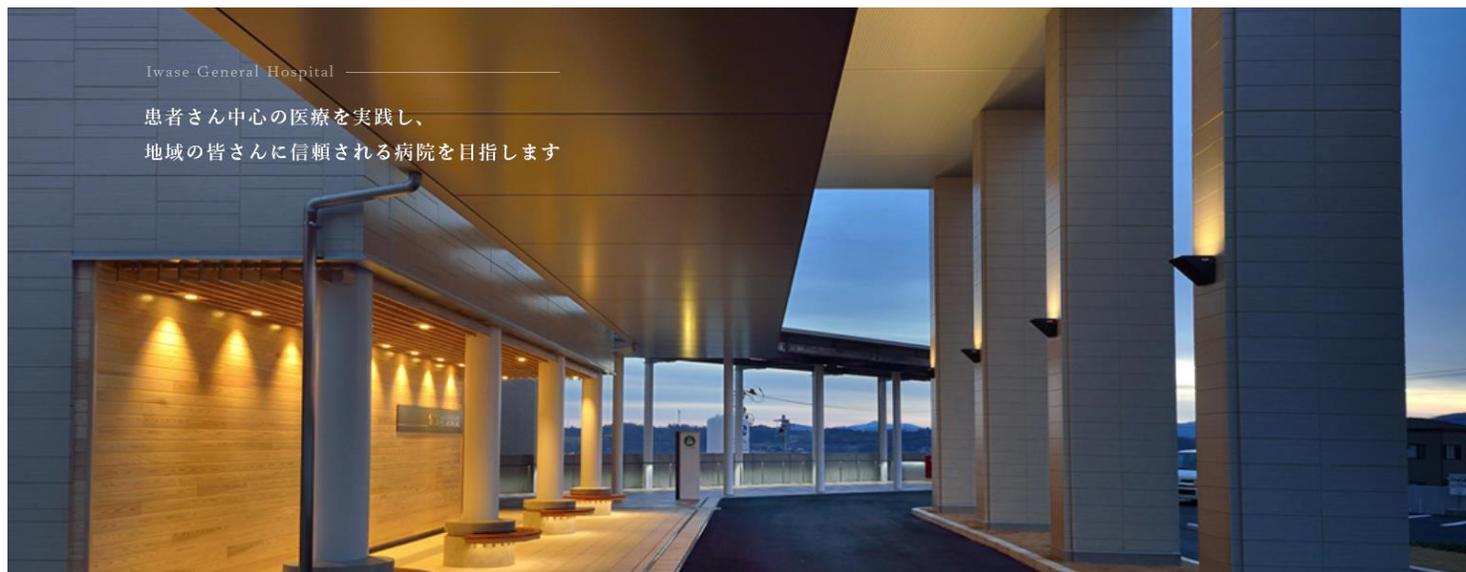
公立岩瀬病院の現状 (2022年)

- 入院患者数： 180～200名/日
(59504人/年)
- 外来患者数： 400名/日
(96898人/年)
- 手術数： 3234件/年 ↑
- 救急車受け入れ： 1356台/年 ↑
- 分娩数： 449件
- 平均在院日数： 12.2日



当院の沿革 公立岩瀬病院の基本理念

患者さん中心の医療を実践し、
地域の皆さんに信頼される病院をめざします

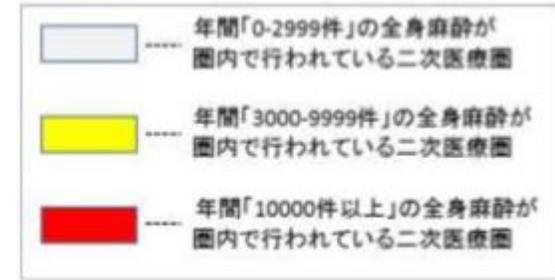


当院HP：“朝日が昇り黄金色に輝き始める公立岩瀬病院”

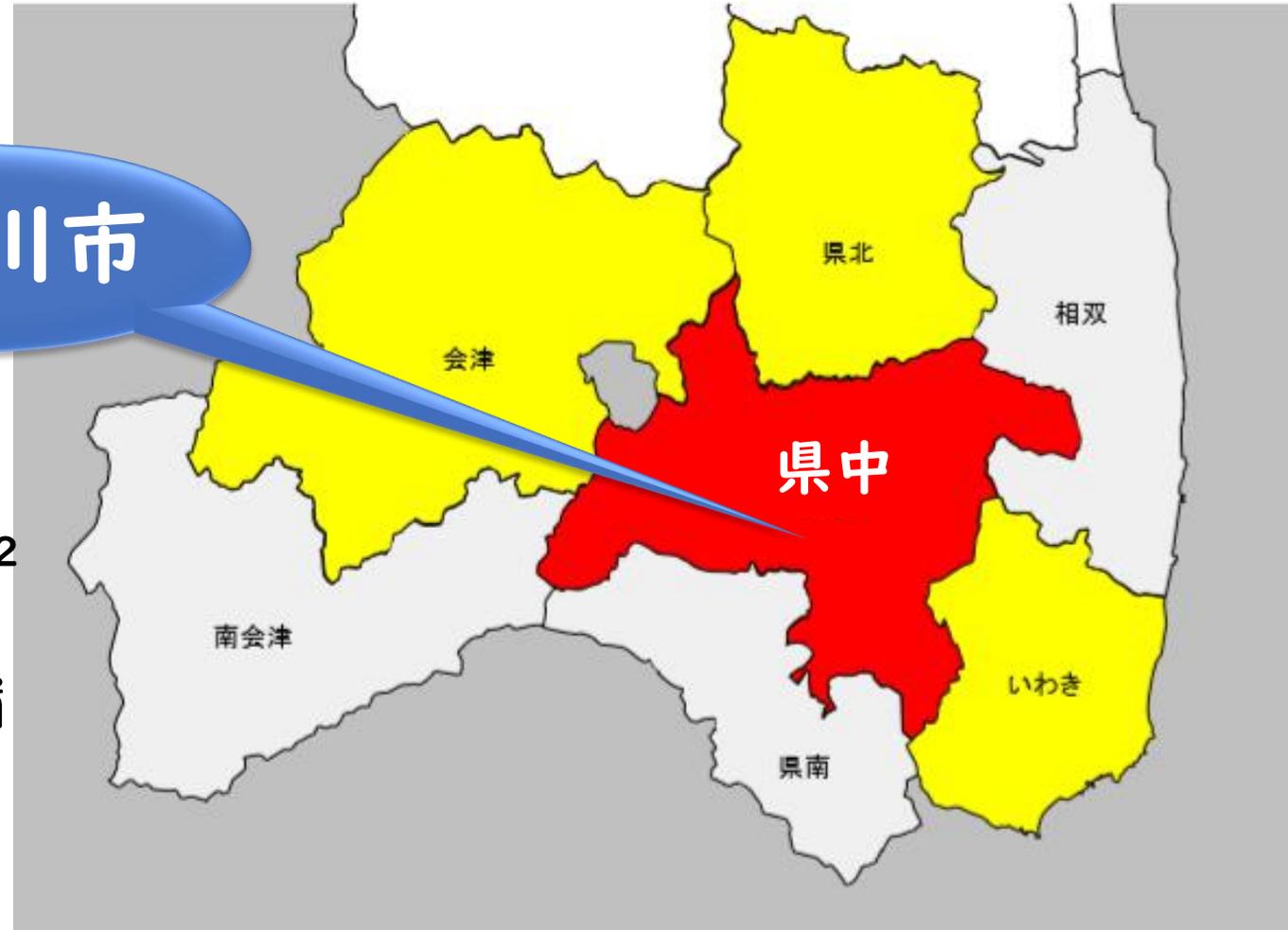
2.当院の地域に おける役割



福島県の二次医療圏



須賀川市



福島県人口: 177万

(全国21位 2023/5/1)

福島県面積: 13,783.90km²

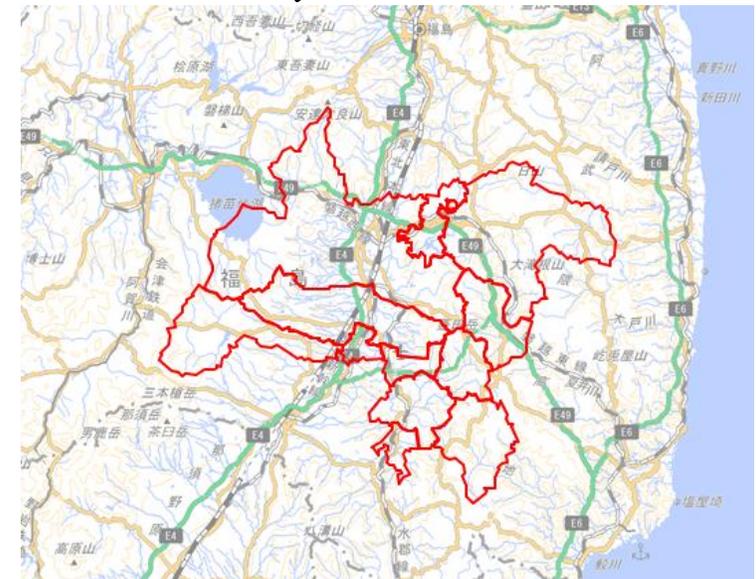
(全国3位 東京の6.28倍)

福島県人口密度: 133人/km²

(全国41位)

県中医療圏

- 構成市区町村：郡山市、**須賀川市**、田村市、**鏡石町**、**天栄村**、石川町、**玉川村**、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
- 県中医療圏地域の概要：
 - **総人口(2020年)：約52万人**
 - **人口増減率(2015～2020年)：-3.67%** (全国：-0.75%)
 - **高齢化率：28.6%** (全国：28.0%)
 - **面積：2406 km²** (東京都：2194 km²)
 - **人口密度：216 人/km²** (全国：338 人/km²)
 - **地方都市型二次医療圏**
 - 急性期医療の提供能力は平均レベル
 - 全身麻酔数の偏差値 45-55
 - 県南や会津からも患者が集まってくる医療圏



県中医療圏の課題と当院の役割

➤救命救急センターと基幹病院が郡山市に集中

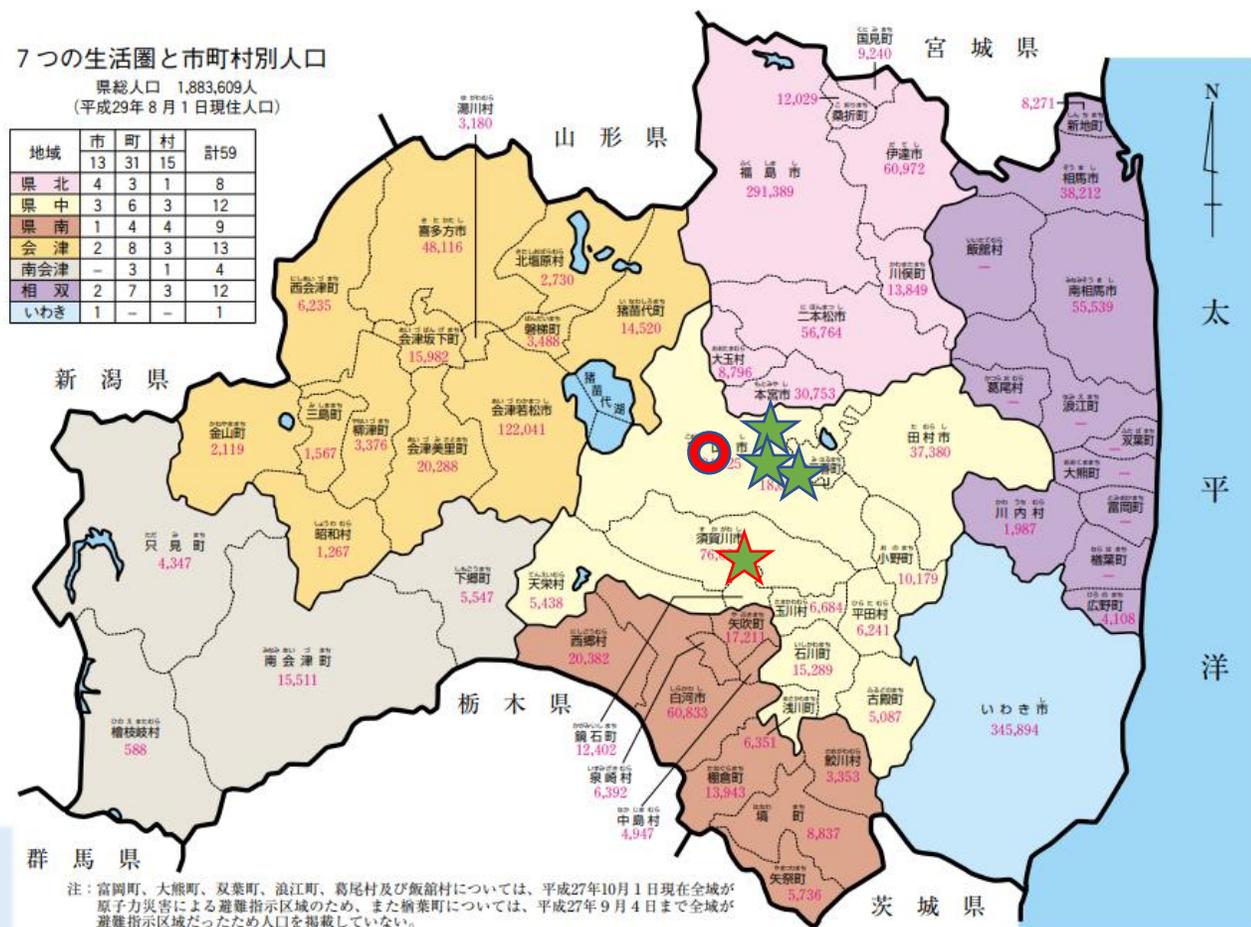
◆郡山市以外では当院が唯一の基幹病院

◆県中医療圏南部で唯一の緊急手術対応可能な二次救急病院

◆県中医療圏南部で唯一の周産期/小児対応医療機関

◆県中医療圏唯一の第二種感染症指定医療機関

◆当院の役割⇒急性期医療に対応できる医療機関であり続ける！



○ 救命救急センター
 ★ 二次救急対応基幹病院

新型コロナウイルス感染症対応



横浜港に停泊するクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」(2020年2月) =共同



第二種感染症指定医療機関、新型コロナウイルス感染症重点医療機関としての責任を担い 2020年2月より 職員一丸 となって対応!

当院の地域における役割

- ✓ 中規模ながら地方都市の基幹病院
- ✓ 二次救急指定病院
- ✓ 医療圏内唯一の第二種感染症指定医療機関
- ✓ 地域災害拠点病院/DMAT指定医療機関
- ✓ 地域唯一の周産期センター/NICU
- ✓ 新型コロナウイルス感染症重点医療機関

医師確保が急務！

✓ 少ない医師数
✓ 39名/279床

全国平均：64名

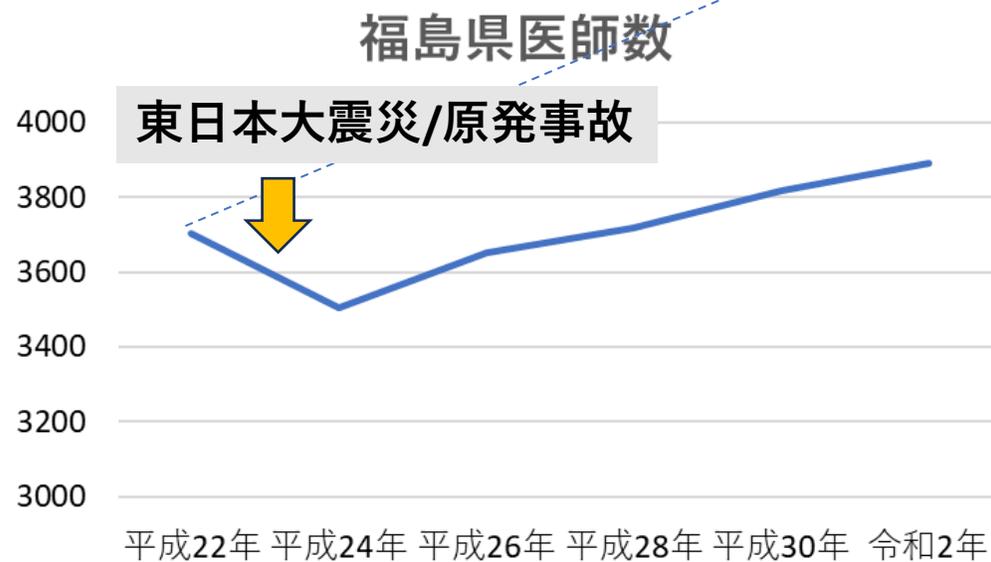
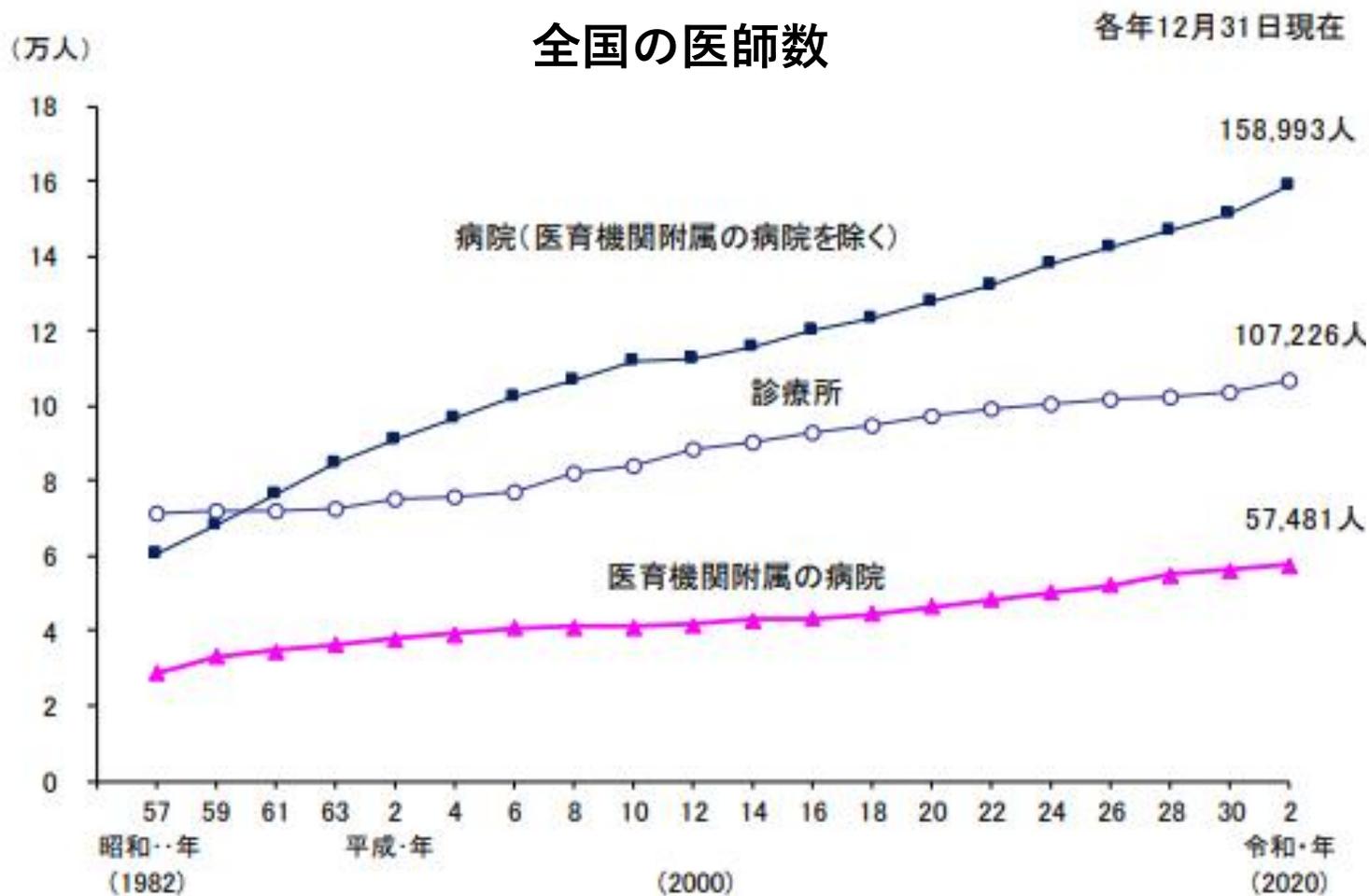
3.福島県の医師確保状況



須賀川牡丹園

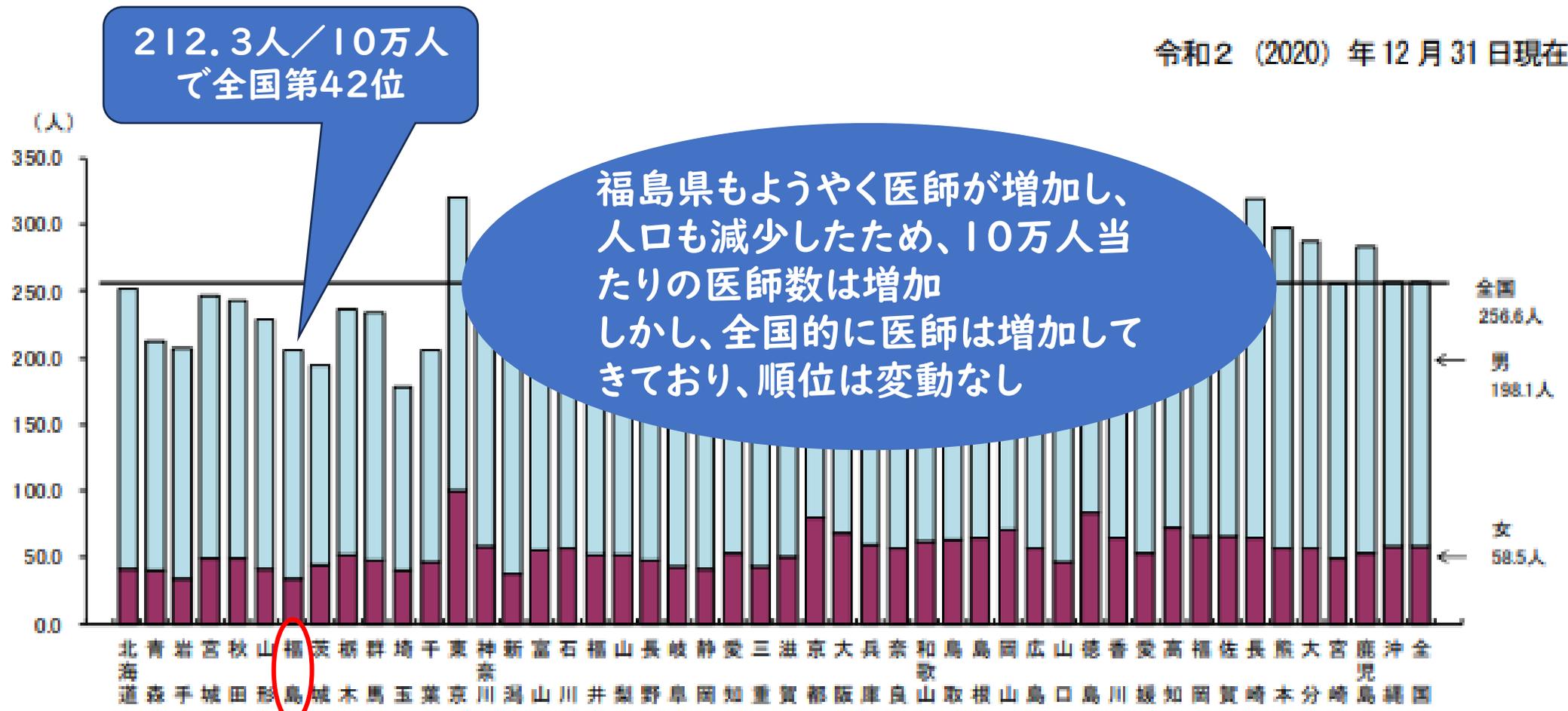
医療施設に従事する医師数の年次推移

出典：医師・歯科医師・薬剤師統計 2022



都道府県別にみた医療施設に従事する 人口10万対医師数

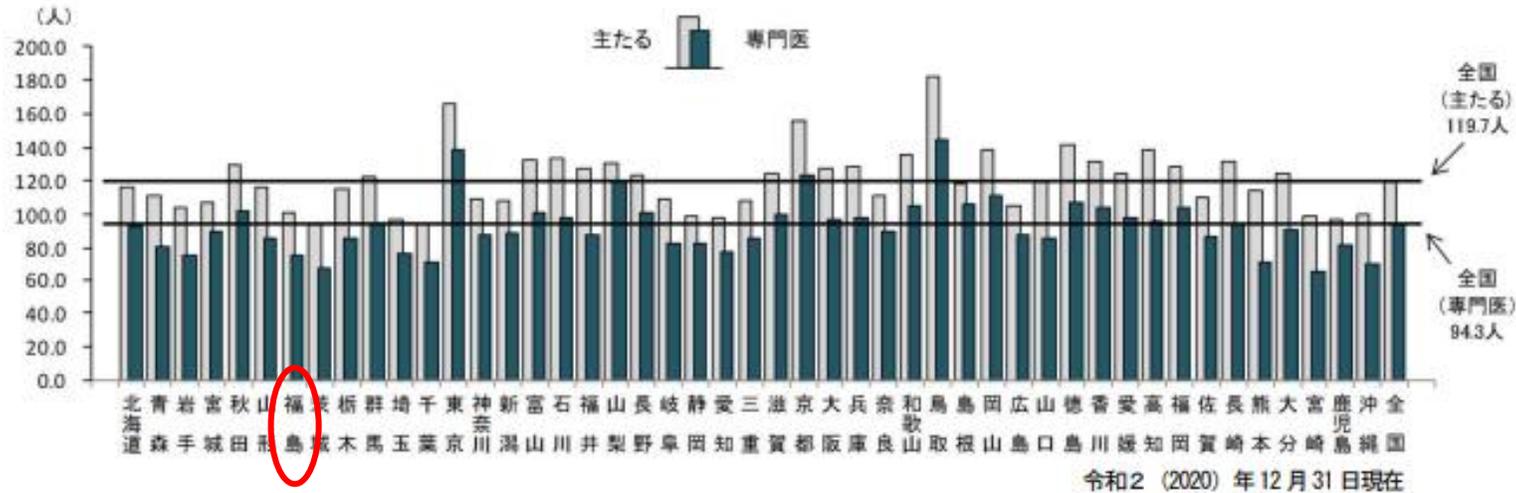
令和2（2020）年12月31日現在



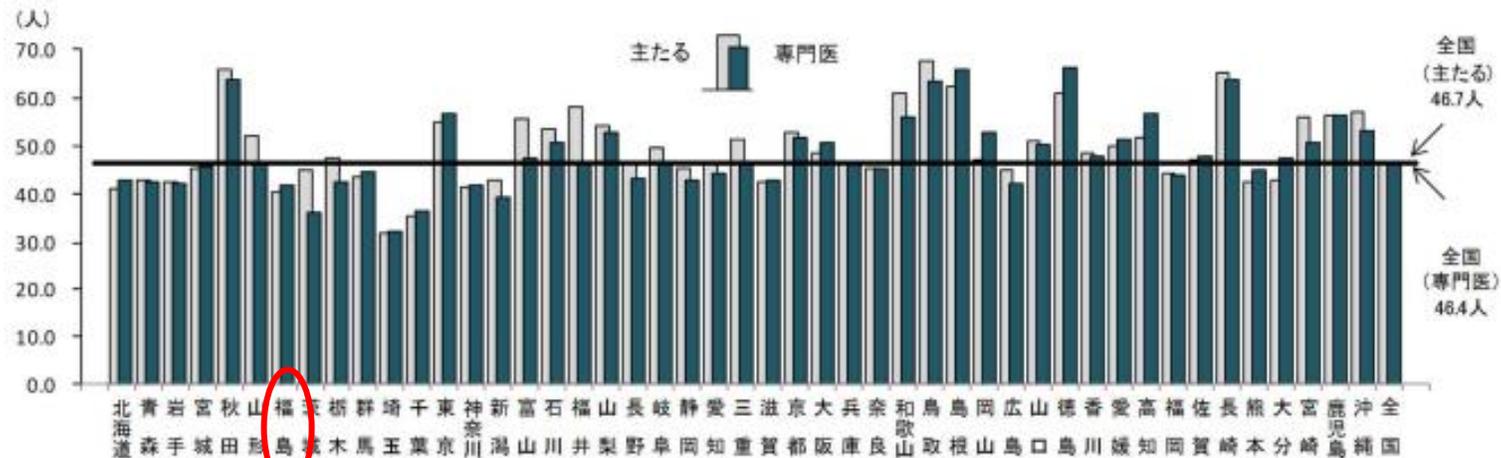
都道府県別にみた医療施設に従事する 人口10万対 小児科/産婦人科医師数

令和2（2020）年12月31日現在

小児科



産婦人科

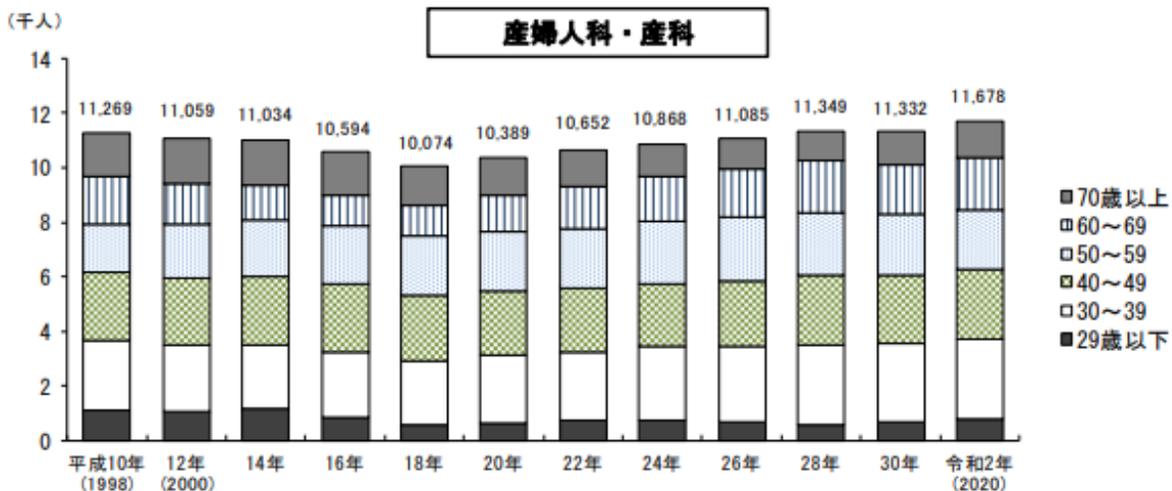
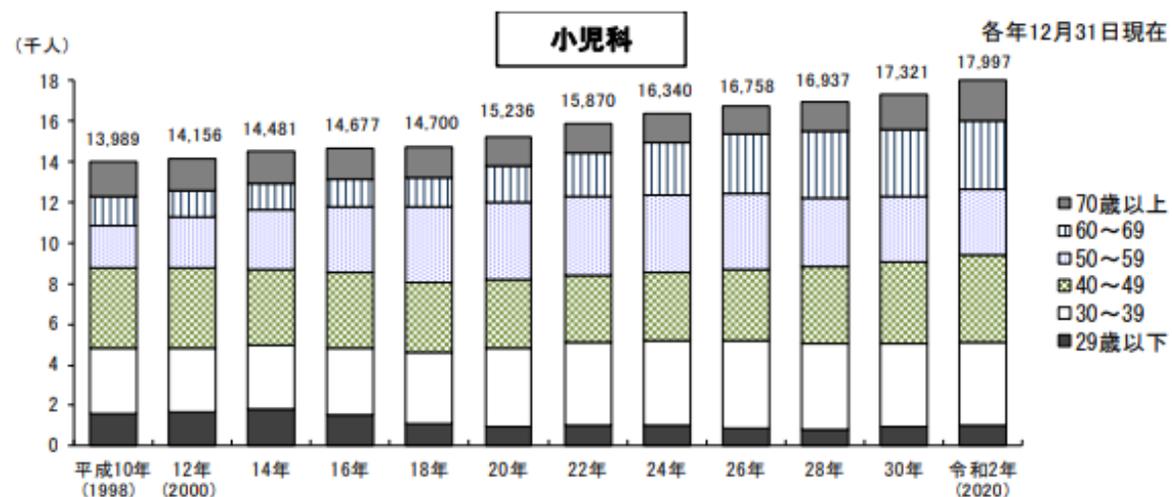


小児科・産婦人科医師数の推移

全国

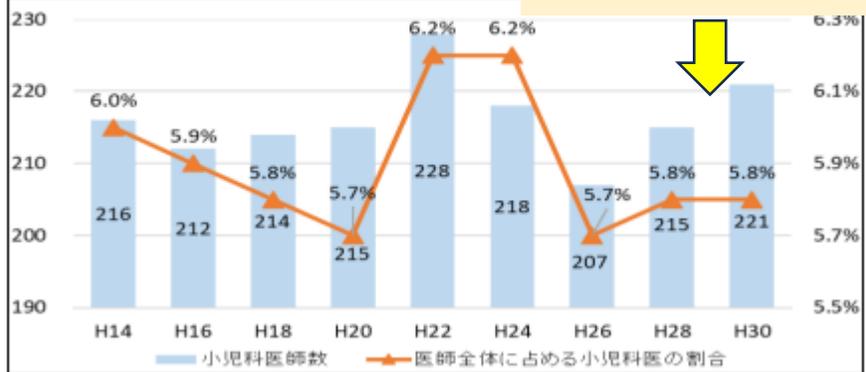
福島県

東日本大震災/原発事故



1 小児科医の現状

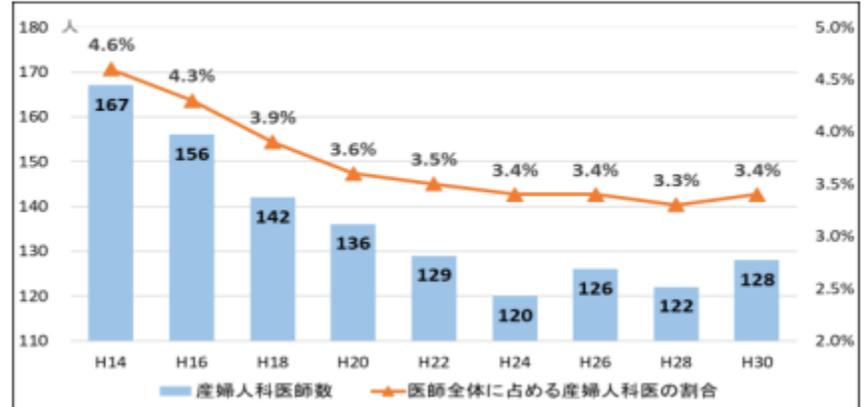
福島県の小児科医師数と割合の推移



周産期C/NICU開設

1 産科医の現状

福島県の産婦人科医師数と割合の推移



福島県の医師確保状況

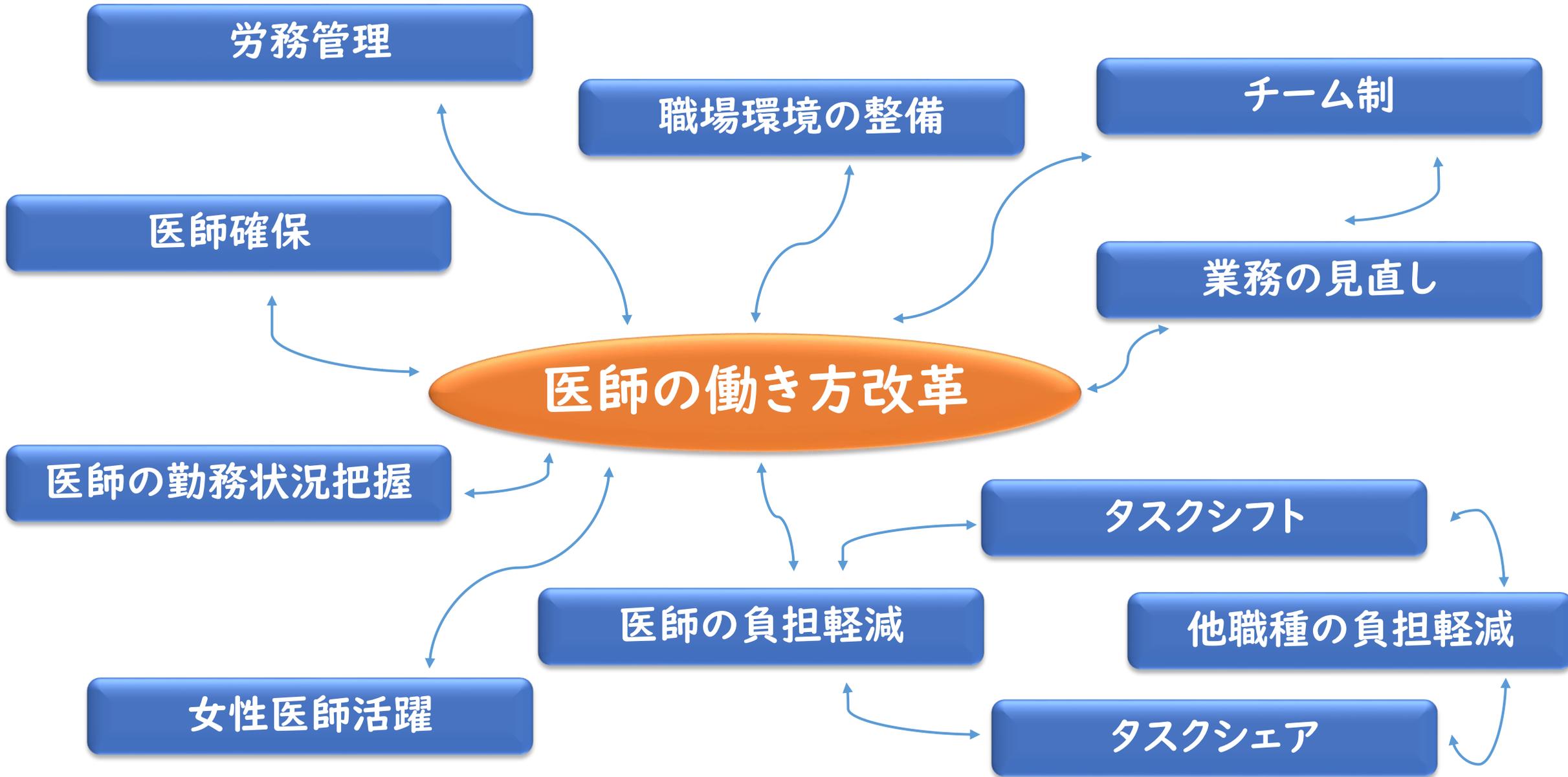
- ✓福島県は以前より**医師少数県**（40位台）
- ✓東日本大震災及び原発事故後に**医師数が減少**した
- ✓平成28年時点においてようやく東日本大震災前の水準まで回復
- ✓現在も全国の医師数増加に比べ**増加は緩慢**
- ✓人口10万人に対する医師数は**全国42位**
- ✓小児科医/産婦人科医も少ない

医師の働き方改革には
disadvantage!

4.当院における医師 の働き方改革への取 り組みと課題



釈迦堂川花火大会



病院勤務医師の働き方改革

- 目的：病院勤務医師のワークライフバランスを改善



質・安全が確保された医療を持続可能な形で
患者に提供

- 方法：人を増やす
仕事を減らす
効率を上げる

医師の働き方改革への取り組み

福島県医療勤務環境改善支援センターから医療特別支援事業候補医療機関として選定

- ✓ 福島県医療勤務環境改善支援センターが（株）TMCに変更
- ✓ 医師労働時間短縮計画作成及び宿日直許可申請に向けて準備

須賀川労働基準監督署から宿日直許可

- ✓ 福島県医療勤務環境改善支援センター（（株）タスクールPlus）から医療勤務環境改善について助言・指導
- ✓ 当院の現状分析
- ✓ 医療勤務環境改善についての各種セミナー受講
- ✓ 宿日直許可申請について相談のため労基署へ事前訪問

須賀川労働基準監督署へ宿日直許可申請

医療機関勤務環境評価センターへ評価受審申し込み

データ修正・再申請

宿日直許可申請の現地調査のため須賀川労働基準監督署の担当者が来院

データ修正・再々申請

データ修正・再々々申請

2021年6月

7月

2022年4月

2022年12月

2023年1月

3月

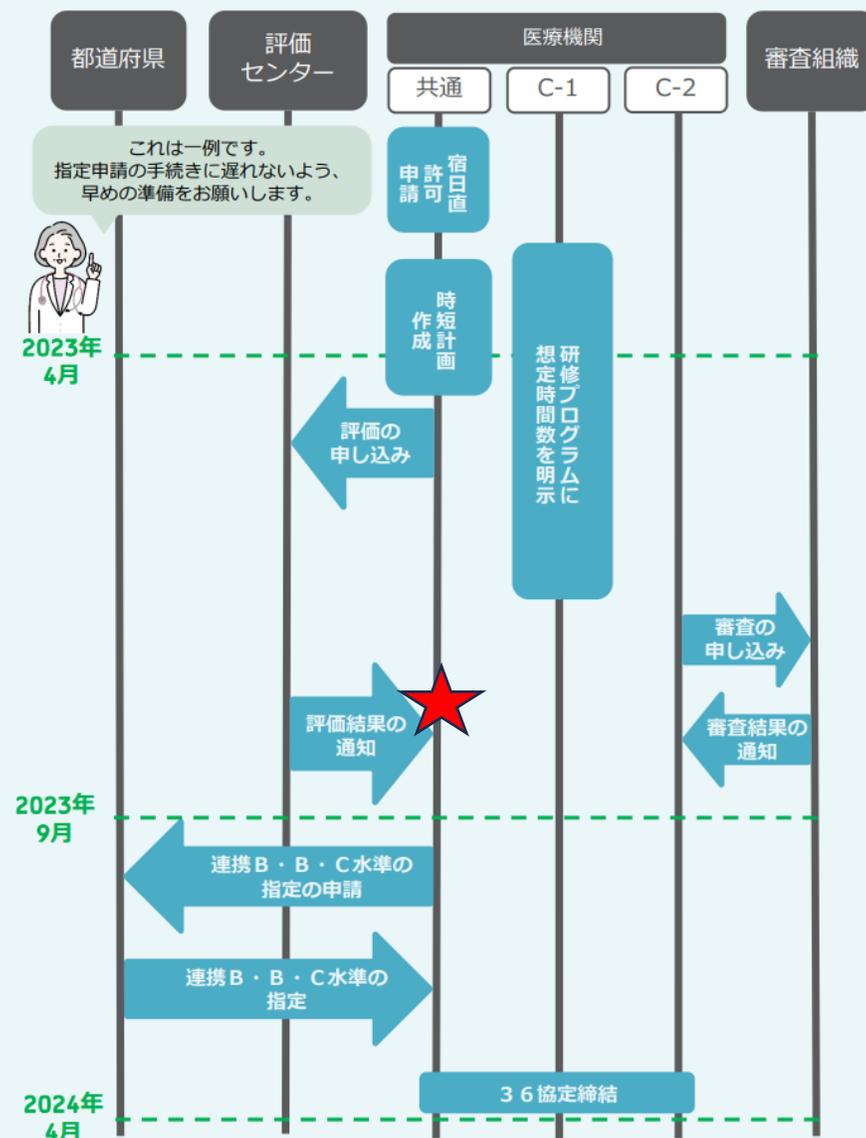
8月9月10月11月

当院の取り組み状況

- 連携B水準を目指し将来的にA水準目標
- 時間外：80時間超/月医師の存在
- 勤務内容の見直し

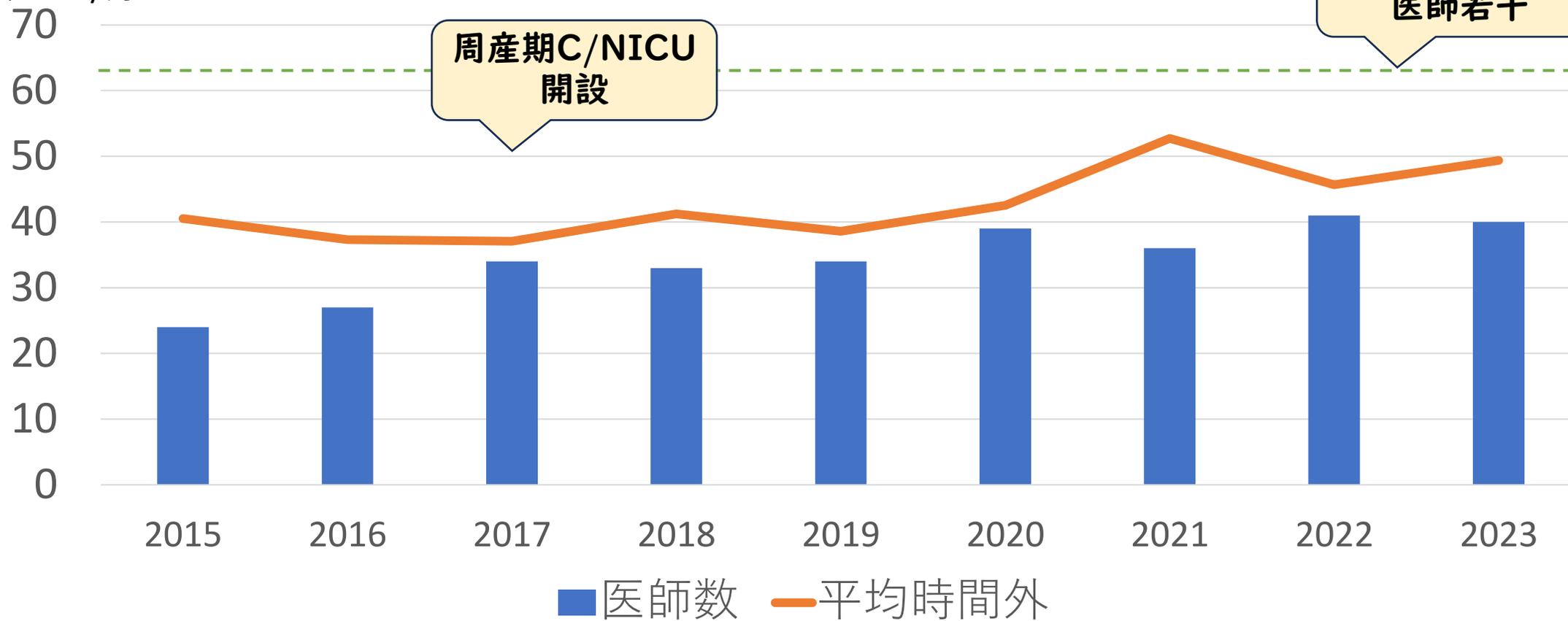
医療機関に適用する水準	年の上限時間	面接指導	休息時間の確保
A (一般労働者と同程度)	960時間	義務	努力義務
連携B (医師を派遣する病院)	1,860時間 ※2035年度末 を目標に終了		義務
B (救急医療等)			
C-1 (臨床・専門研修)	1,860時間		
C-2 (高度技能の修得研修)			

連携B・B・C水準の指定を受ける場合の 手続きの流れ (全体像)



当院における医師数と平均時間外の推移

医師数：人
時間外：h/月



時間外業務の定義

<2022年12月14日 公立岩瀬病院>

時間外業務に該当するもの		時間外業務に該当しないもの	
a.診療に関するもの		a.休憩・休息	
1	病棟回診	1	食事
2	予定手術の延長、緊急手術	2	睡眠
3	チャーターイング	3	外出
4	サマリー作成	4	インターネットの閲覧
5	外来の準備	b.自己研鑽	
6	オーダーチェック	1	自己学習
7	診療上必要不可欠な情報収集	2	症例見学
b.会議・打ち合わせ		3	参加任意の勉強会・カンファレンス
1	必須出席者である会議・委員会	c.研究・講演その他	
2	参加必須の勉強会・カンファレンス	1	上長の命令に基づかない学会発表の準備
c.研究・講演その他		2	上長の命令に基づかない外部講演等の準備
1	上長の命令に基づく学会発表の準備	3	上長の命令に基づかない研究活動・論文執筆
2	上長の命令に基づく外部講演等の準備		
3	上長の命令に基づく研究活動・論文執筆		

当院の勤怠管理

- 勤怠管理についてのデータ ⇒ ICカードで施行
- 建物の入退出管理システム
- 出勤・退勤時間・残業時間・自己研鑽時間・休暇等の詳細の時間管理は不可
- 申請書により自己申告 ⇒ 上長が承認 ⇒ 病院長が承認
- 性善説に基づくが診療科によりバラツキあり



現在労務管理システム導入準備中
稼働予定：2024年3月

女性医師活躍/支援

- 2013年～女性医師支援を宣言
- 当直室/仮眠室：女性医師用を準備
- 女性医師用パウダールーム設置
- 女性医師9名 (25.6%)
- 産休・育休・時短勤務取得



女性医師支援

公立岩瀬病院は女性医師が働きやすい病院を目指します。女性医師は結婚や出産・育児などのライフイベントのためにキャリアの中断を余儀なくされることがしばしばあり、医師としてのキャリアを継続する支援が必要であると考えています。当院では以下のような支援を行い、女性医師のキャリアの継続を応援しています。

1. 各種支援制度

対象	支援制度	期間等
妊娠中	妊婦健診のための勤務免除	①7ヶ月目まで4週間に1回 ②8～9ヶ月目まで2週間に1回 ③10ヶ月目から出産まで1週間に1回
	母体又は胎児の健康保持のための勤務免除	産直体験・産直を行う時間内
	通勤の途の滞りによる母体又は胎児の健康保持のための勤務免除	1日1時間以内
	つわりの休暇	10日間
	産前休暇	出産予定日8週間前から (多児妊娠の場合は14週間前から)
出産	産後休暇	3日間
	扶養手当	別途規程により支給
	産後休暇	出産から8週間
産後	育児休暇	3歳に達する日まで
	妊婦健診のための勤務免除	出産後12ヶ月までに1回
	保育休暇	生後1年未満の子の保育 1日2回、それぞれ30分以内
	子の看護休暇	中学就学まで 1年で7日以内
	子の看護休暇	中学就学まで 1年で7日以内

この他にもフレックスタイム制や育児休暇取得支援などを実施しています。ママになられたための準備期間としてお休みをとりやすい環境づくりをめざします。

2. 柔軟な勤務形態

・個人の希望を確認しながら多様な雇用形態、勤務形態の組合せによる働き方を検討しています。今現在短時間勤務で働いていただいている女性医師もおります。



医師不足 10年後の医師を養成！

- 医師不足改善困難
- 自前で地域から医師を育てよう！
- 須賀川医学校再興！
- 「10年後の医師を地域で育てる」事を目標に、2007年より「手術体験セミナー」を開催してきた。

Concept

- 10年後の医師(外科医)を地域から育てる
 - ◆ 対象: 中学2年生(14歳)
- 本物の手術室で本物の手術機器を使用
 - ◆ 驚きと感動

公立岩瀬病院 主催
よみがえる須賀川医学校



第8回手術体験セミナーのお

地方における医療崩壊が叫ばれて久しい状況ですが、まだ解決の糸口は明治5年に開設された当院には、翌6年に看護婦人の前身である須賀川助産婦人科教育から数り組んだ歴史がございます。その学び者からは後継新卒生が輩出されました。そこでわれわれも先人達の知恵に学び、地域医療の力で克服するために、2007年から中学生を対象とした「手術体験セミナー」を行いました。目標は「10年後の医療人を育てる」事といたしました。そして、10月には、第1回のセミナーに参加していただいた生徒さんが、岩瀬県立医科大学 医学部を卒業し医師として夢を始めました。



手術体験セミナー 2007年～

- 参加者より医師を輩出
 - 10年後の医師を育成!
 - 現在診療応援に来院
-
- 震災による中断
 - COVID-19による中断

2017/2/25 NHK 福島ニュース



人を増やす

- 医師不足解消 大学や行政、地域とともに取り組む
- 応援医師の獲得 医師会との協力
- 宿日直許可取得
- 宿日直 外勤医師に応援依頼
- 働き方改革への対応 勤怠管理システム導入
- 女性医師支援
- 未来への布石



タスクシフト/タスクシェア

看護師/助産師

- **認定看護師** **: 8名**
- ・ 皮膚・排泄ケア **2名**
 - ・ 糖尿病 **1名**
 - ・ 感染症 **1名**
 - ・ 透析 **1名**
 - ・ 認知症 **1名**
 - ・ 摂食・嚥下 **1名**

- **特定行為研修修了看護師** **: 3名**
- ・ 皮膚・排泄ケア **2名**
 - ・ 糖尿病 **1名**

- **アドバンス助産師** **: 11名**

現在も認定看護師2名、特定行為研修修了看護師1名 養成中

看護外来のご案内

専門の知識を持った看護師が治療や日常生活における患者さんやご家族からのご相談をお受けいたします。

病気と付き合いながら、その人らしい豊かな生活をおくれるように、一緒に考え支援していきます。

看護外来へのご相談は当院 地域医療連携室までご連絡下さい。



お問い合わせ先

公立岩瀬病院（地域医療連携室）

TEL.0248-75-3111

当院にて開設されている看護外来		外来日時
糖尿病看護外来	糖尿病患者のパートナーとなり患者自身が療養生活の目標を見つけられるようサポートしていきたいと考えています。	火～金曜日 9:00～ 12:00
排泄ケア看護外来	排尿・排便で困っている事の相談を受け、患者・家族の生活の質の向上をめざします。さらに介護する方の負担軽減になる様に支援します。	月曜日 14:00～ 16:00
ストーマケア看護外来	オストメイトの方や、これからストーマ造設を予定されている方が、日常生活で困っている問題点や不安に思っている事などに対して個別に継続した専門的なケアを提供させていただきます。	月・金曜日 13:00～ 14:00

助産師外来

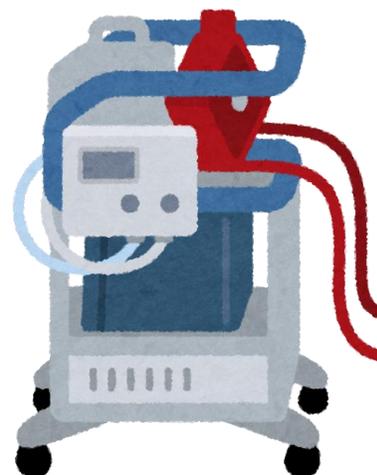
タスクシフト/タスクシェア 臨床工学技士 (ME)

➤ 臨床工学技士 (Medical Engineer) 5名

- 医療機器管理業務
- 人工呼吸器管理
- 人工透析管理 (HD)
- 血液浄化業務 (CHDF, PE)
- 手術室業務
- 麻酔器使用前点検
- 腹腔鏡手術直接介助 3名
- 消化管内視鏡介助 2名



開催概要



看護業務のタスクシフト/タスクシェア

- 看護助手増員 ⇒ 看護補助加算Ⅰの取得
- 通信機能付バイタルサイン測定機器（血圧計・体温計）導入
- AI問診システム導入

■ユビーメディカルナビについて

ユビーメディカルナビは、医療機関の業務効率化を支えるAI問診サービスです。紙の問診票のかわりにスマートフォンやタブレットを活用するのが特徴で、患者さん一人ひとりの症状に合わせた詳細な事前問診が可能となり、さらに電子カルテ記載に伴う事務作業も大幅に削減されます。医師の皆さんは診察等の医師にしかできない業務に患者さん一人ひとりの症状に合わせた詳細な事前問診が可能となり、電子カルテ記載に伴う事務作業も大幅に削減。働き方改革への意識が高まる全国の急性期病院から各地域のクリニックまで、2023年10月時点で47都道府県・1,500以上の医療機関で導入されています。



通信機能付バイタルサイン測定機器シリーズ



ログイン

新規会員登録

HRジョイントトップ

病棟でのご利用

外来でのご利用

患者さんの“今”を大切にする
HRジョイント™

通信機能付バイタルサイン測定機器シリーズ



HRジョイントとは、「NFC通信機能を有するテルモの医療機器等と情報システムとの連携」によるソリューションを指します。

タスクシフト/タスクシェア

医師事務補助

- 医師事務作業補助体制加算 I (15:1 ⇒ 20:1)
 - 診断書等の文書作成補助
 - 医療の質の向上に資する事務作業（診療に関するデータ整理、院内がん登録等の統計・調査、教育や研修・カンファレンスのための準備作業等）
 - 入院時の案内等の病棟における患者対応業務及び行政上の業務（救急医療情報システムへの入力、感染症サーベイランス事業に係る入力等）
 - 入院・外来サマリー下書き（研修医/若手の力量？）
 - 患者・家族への連絡・調整
- 課題：雇用継続システム



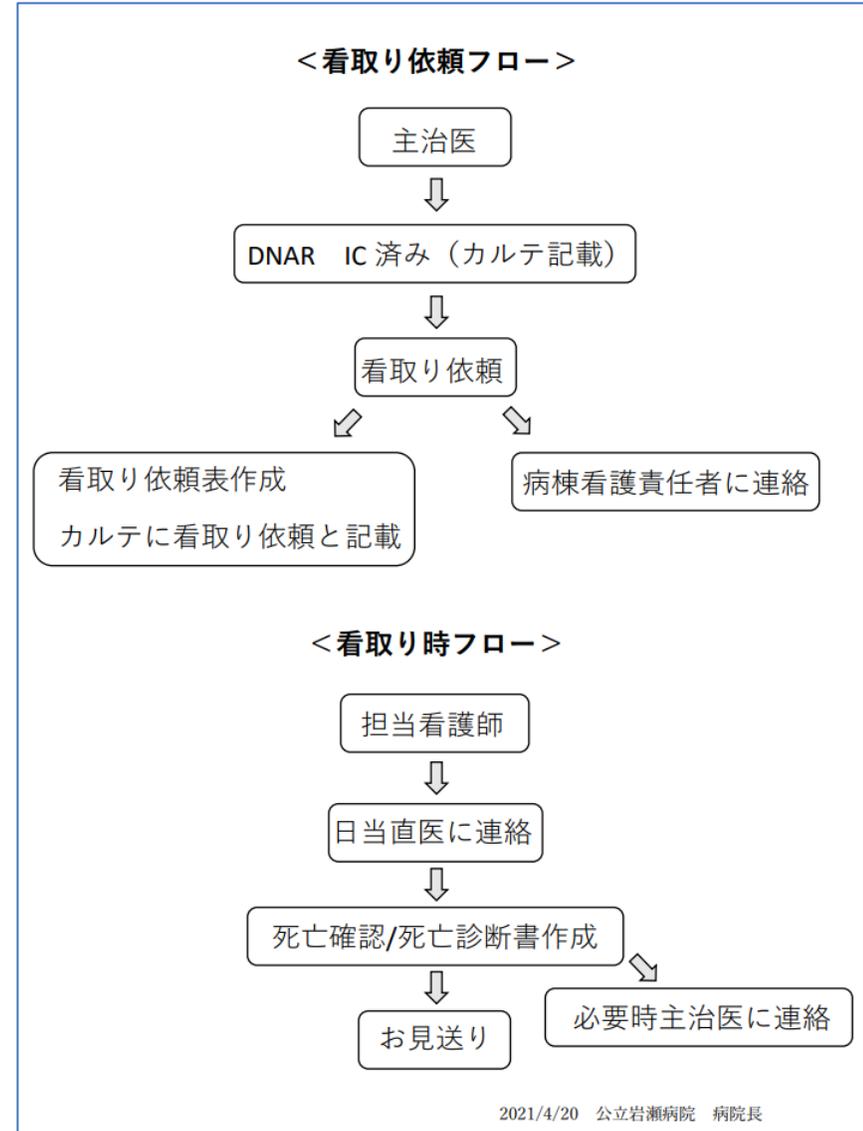
タスクシフト/タスクシェア 医師間

- 業務の見直し
- チーム制の導入
- 年休取得の促進
- 産休・育休（男性医師含む）・時短勤務取得
- 看取り依頼開始（2021年4月～）

末期がん、高齢者、DNAR取得患者
家族に事前に説明⇒看取り依頼表を作成

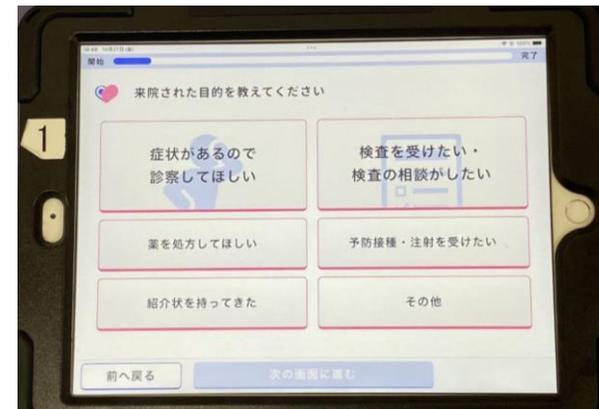
日当直医師に看取りを依頼

- ・ 導入後医師アンケート調査
- ・ 内科・外科医師 満足度/継続希望：100%
- ・ 当直医：概ね対応できている



タスクシフト/タスクシェア DX

- 通信機能付バイタルサイン測定機器（血圧計・体温計）導入（2023年1月）
- 外来患者呼び出しシステム（2018年6月）
- AI問診システム導入（2020年2月）
- オンライン資格確認開始（2021年3月）
- 電子処方箋運用開始（2022年12月9日）



お手持ちのスマートフォンで
どこでも診察待ち番号の確認ができます！

待ち時間の有効活用

売店で レストランで

まずはアプリをダウンロードください
外来アプリ Sma-pa (スマホ)
ダウンロードはこちら

感染症予防の観点から、お車でお待ちいただくこともできます！

利用料 0円

1診	06	07	08	09
2診	103	104		
3診			急患対応中	
4診	302	303	304	

病院選択画面で公立岩瀬病院を選択してください

待ち番号を選択し、診察室をお選びください。プッシュ通知を設定することもできます

外来アプリ Sma-pa (スマホ)

お問い合わせ窓口
公立岩瀬病院 医事課
0248-75-3111(代)

「マイナンバーカード」によるオンライン資格確認



厚生労働省臨床研修指定病院

公立岩瀬病院

LINE 友だち追加

お問い合わせ

交通アクセス

☎ 0248-75-3111

| 病院紹介 | 外来案内 | 入院案内 | 検診・人間ドック | 診療科・部門 | 地域医療連携 | 採用情報 | 寄附のお願い |



外来案内

🏠 ホーム > 外来案内 > オンライン資格確認について

- ✓ 医療DXに重要
- ✓ 診察歴/処方歴が確認可能



2021年3月17日～
オンライン資格確認プレ運用
に参加

オンライン資格確認について

2021年10月20日より「マイナンバーカード」を使ったオンライン資格確認の本格運用が開始されました。

マイナンバーカードをお持ちの方は、窓口でスタッフに保険証をご提示いただかなくても、窓口設置のカードリーダーを利用することで保険の資格確認がスムーズにできます。

詳しくは、受付窓口スタッフまでお問い合わせください。



オンライン資格確認を利用するためには

- マイナンバーカードを申請しましょう
マイナンバーカードをお持ちでない方は、郵送のほかパソコンやスマホから申請することができま



Iwase General Hospital

外来案内

- ① 外来受診の仕方
- ② 外来診療予定表
- ③ 看護外来案内
 - > 糖尿病看護外来
 - > 排泄ケア看護外来
 - > ストーマケア看護外来
- ④ 救急外来受診の仕方

電子処方箋モデル事業 4地域を選定

(別紙1)

電子処方箋のモデル事業について — 先行導入地域として4地域を選定 —

目的

令和5年1月の電子処方箋管理サービスの運用開始に向けて、医療機関・薬局等における運用プロセスやトラブル・問い合わせ対応を確立するとともに、電子処方箋の活用方法の展開を行う。

期間

令和4年10月末～（1年間）

概要

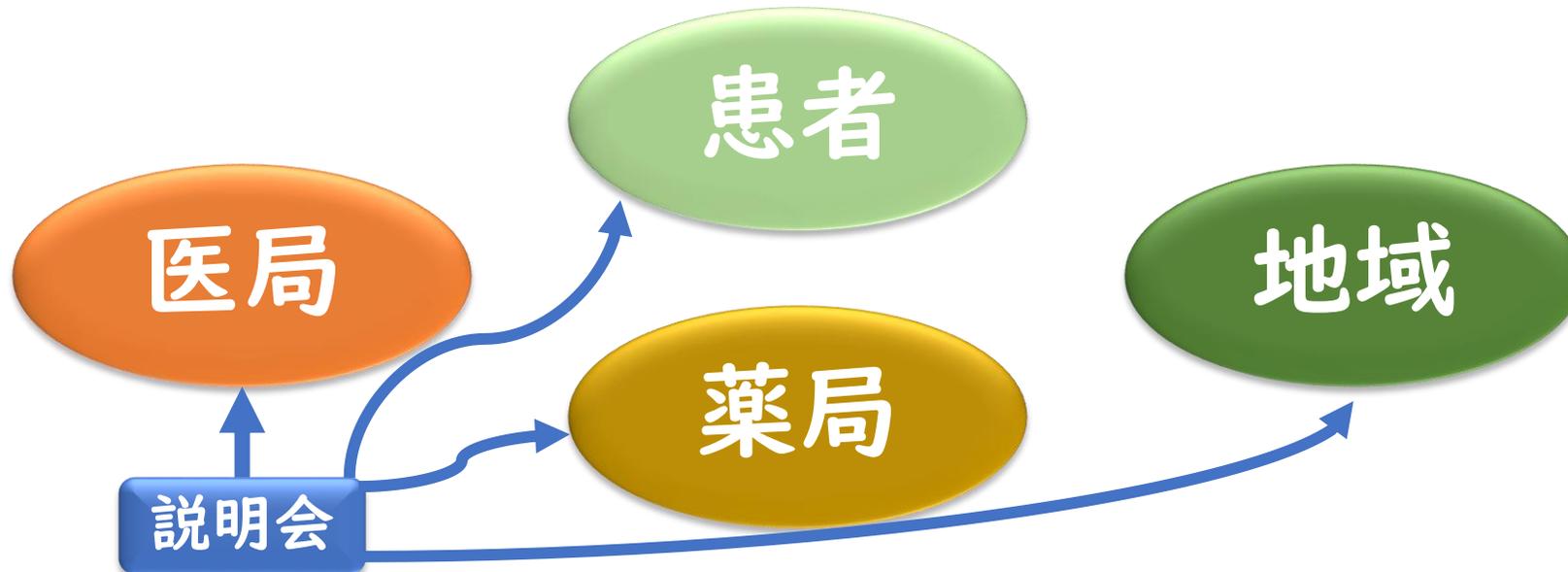
地域を限定したうえで、電子処方箋を先行導入可能な医療機関・薬局を対象に、効果的な服薬指導を実現するため、重複投薬等のチェックをはじめとした電子処方箋の運用面での検証を行うとともに、電子処方箋を活用した先進的な取組や課題、優良事例を収集することにより、電子処方箋の更なる活用方策についてとりまとめる予定。

※ 施設については、今後、次頁の一覧以外にも追加する可能性があります。



当院が電子処方箋に取り組んだ理由

- 電子処方箋により、重複、相互作用、多剤投与などをリアルタイムに確認できる事で、患者安全確保や医療者の負担軽減が可能
- 薬局の投薬内容や担当薬剤師さんを確認できる
- 処方データをクラウド上に保存でき、救急や災害時にも有効



患者家族への協力依頼

- 患者・家族を含めた地域の協力も必要
- ICは勤務時間内にお願ひする
- 時間内受診への理解
- コンビニ受診を控えていただく

患者さま・ご家族の皆さまへ

医師の働き方改革に伴う病状説明の時間帯について

昨今、政府の推し進める「働き方改革」の中で医師及び職員の長時間労働・過重労働が社会的に大きな問題となっております。当院においても、医師及び職員の労働環境の改善に努める必要があると考えております。

つきましては、担当医師からの患者さまやご家族の皆さまへのご説明については、原則として下記時間帯とさせていただきます。

説明時間帯 平日 8時30分～17時00分まで

(平日夜間、土日祝は実施していません。)

* なお、緊急時や患者さまの病状等により、やむを得ない場合は、この限りではありません。

皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、ご理解・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

2021年11月

病院長 土屋 貴男

仕事を減らす/業務効率化



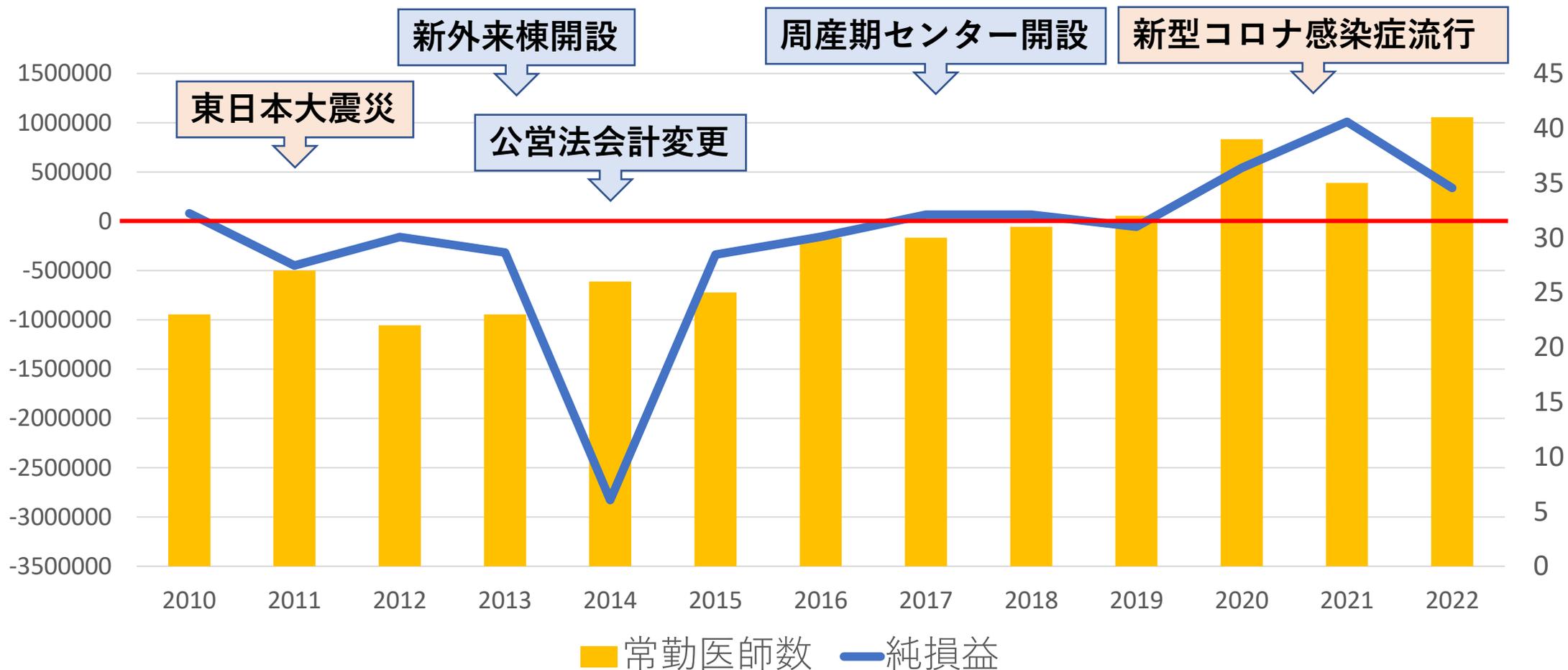
- タスクシフト/タスクシェアは必須
- 認定・特定行為研修修了看護師・アドバンス助産師の育成
- MEの増員/業務拡大
- 看護業務のタスクシフト/タスクシェアも必要
- 医師事務作業補助者の活用/獲得
- 医師間タスクシフト 看取り依頼は評価高
- DX化は重要！
- 地域の理解と協力も必要



5. 今後の展望



当院における常勤医師数と純損益



新公立岩瀬病院改革プラン



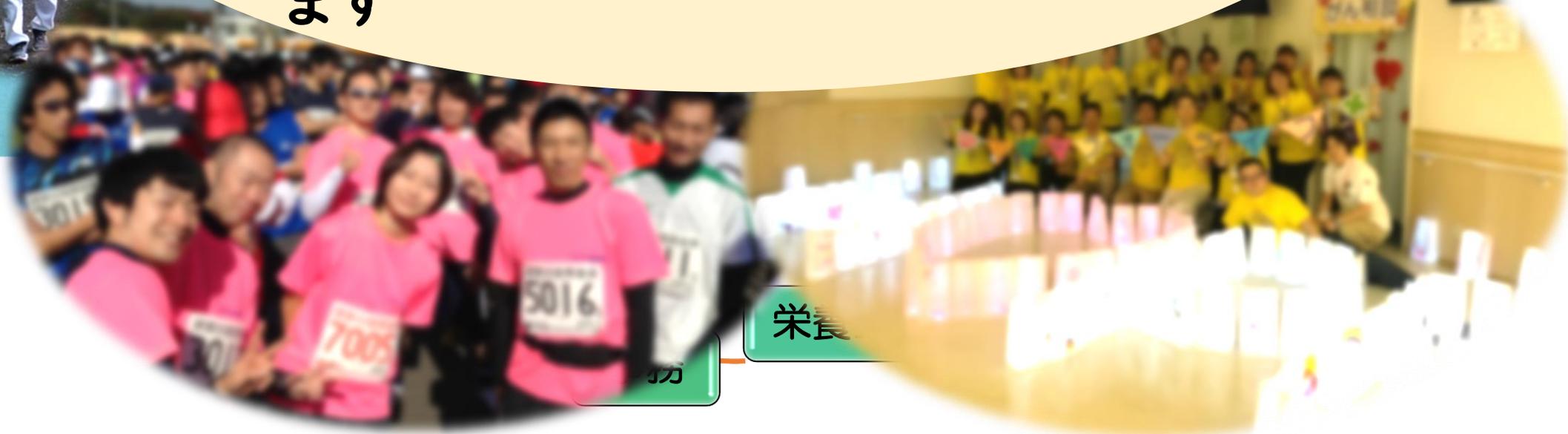
- 当院が地域の中核病院として地域における良質な医療を今後とも確保していくためには、持続可能な病院経営が不可欠。
- 少子高齢化の急速な進展、医療制度の改革、医療の高度化・専門化など、病院を取り巻く環境を見極めながら、医療需要の変化に対応が必要。
- 医療提供体制の再構築などの取り組みを重要な地域の課題と認識。
- 改革：「経営効率化」「再編・ネットワーク化」「経営形態の見直し」「地域医療構想を踏まえた役割の明確化」
- 医師不足を解消し医師の働き方改革にも対応⇒医療提供や病院経営にも重要
- 対象期間：令和4年4月1日～令和8年3月31日

* 令和5年度からは公立病院経営強化プランも作成開始

チーム医療 チーム岩瀬



これからも地域に必要とされる病院としてあり続けるために 職員一同“チーム岩瀬”として医師の働き方改革にも取り組んでまいります



栄養

公立岩瀬病院における 医師の働き方改革への取り組みと課題

- 地方中規模の公立病院においては医師確保が急務
- タスクシフト/シェアには、認定看護師、特定行為研修修了看護師、アドバンス助産師活用は重要
- 医師不足に対しては、看護師、ME、医師事務作業補助者等チームで対応
- 医療DXは重要
- 地域の理解と協力を仰ぐ必要あり

「一人、二人、三人」

